

広報 うねり

第 26 号

発行所 黒崎村役場
発行人 清水 善夫
印刷所 小野塚印刷刷



機械植えで能率もグーンと上る

この地区は、山田を除く、善久、柳作、立仏、北場、鳥原、鳥原新田、金巻、板井、木場の九地区で総面積は四十二万九千三百一十平方メートル、このうち水田が四十万八千八百六十平方メートル、妥結額は総額で約十四億円となっており、これは道路延長にして七・九kmとなっている。山田地区については、インターチェンジにかかると、他地区よりは遅れ、現在部落説明会を開催している段階である。

村内を縦断する、北陸高速自動車道にかかる、用地買収は、山田地区を除いてほぼ終了した。去る、四月二十二日、黒崎村民館講堂において、地権者の代表約四十名が出席し、その席上において道路公団より価格の発表が行なわれた。翌二十四日から二十七日の四日間に渡り燕用地事務所と各地権者約四〇〇名との間に通過区間においては初の契約が行なわれた。

北陸自動車道

高速道用地買収ほぼ終了

七・九kmで十四億円

価格発表の図面を見入る地権者



磯部さんは現在善久部落の評議員(会計兼務)として活躍、善久に居住約二十年、村民一同が磯部さんの成功と健康を祈りましょう。

たばこは村内のたばこ屋さんで、二千四百万円程が村の財源になります。

〈村の動き〉

4月末現在(前月比)		
人口	17,471	- 1
男	8,548	- 1
女	8,923	0
世帯数	3,952	+30
4月1日から4月末日まで		
死亡	10	
出生	21	
結婚	35	

ここまで進行したことは、関係地権者の理解ある協力と数回にわたる開催された用地交渉委員の方のご努力、また昼夜を問わず行なわれた部落説明会に参加した人の努力の結晶がここまでの成果と考えられる。

磯部さん インドネシアへ

炭素開発技術指導に



本村、善久部落の磯部博さん(印)は村上林業事務所の普及課長で、去る四月十一日、インドネシアで活炭素の技術指導をするため、羽田を出発、コロンボ協定によるもので全国でもただ一人選ばれた。同課長は昭和四十五年五月二十六日付で炭化炉の開発で、日本林業技術協会の技術賞を受けられ、炭素開発の専門家として今回インドネシアの西ジャワのポコール市に滞在二ヶ月の予定、ワイドオーシャン石油会社でヤシから炭を作り、工業に利用するための指導をする計画のこと。

この人にこそ、その一標〔選挙標語〕